

平成24年度  
実施事業

事務事業名 乳幼児保健事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	2	母子保健の充実
主要な施策	1	①妊産婦や乳幼児の保健指導の推進
事務事業番号	006	事業開始年度 昭和 48 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	乳幼児期における子どもの順調な成長・発達を促すとともに、養育者への子育て支援により虐待の未然防止を図る。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	乳幼児健康診査（小児科医・歯科医診察、保健師・栄養士相談、臨床心理士等発達相談、歯科衛生士歯科指導）・乳幼児健康相談・訪問指導（保健師・助産師）を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・4か月児健康診査 12回 335人</li> <li>・1.6か月児健康診査 12回 329人</li> <li>・3歳児健康診査 12回 316人</li> <li>・10か月児健康相談 12回 328人</li> <li>・乳幼児相談 12回 208人</li> <li>・乳児（新生児）訪問指導（延べ） 400人</li> </ul>
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	乳幼児期の発育及び発達を支援し、養育者への育児支援を行うことで親子関係を築き、虐待の未然防止を図ることことを目的とし事業を推進する。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	母子保健法

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	2,450	2,501	2,622	2,622	2,622
事業費 合計			2,450	2,501	2,622	2,622	2,622

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果指標	① 4か月児健康診査受診数	人	目標値	330	350	350	350	350
			実績値	292	335			
	② 乳児（新生児）訪問実施数	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	90.7	94.5			

比較		《 Check 》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子を取りまく問題は多様化しており、家庭基盤(経済基盤)・家族機能の脆弱さ、養育者の精神面の問題、子どもの発達の遅れなど、虐待につながるような要因が多々みられている。</li> <li>・子育て支援に関わる各部署において情報の共有や処遇検討をとおし役割分担し子育て支援に携わる必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊娠期から出生した後も母子への支援において、訪問指導・相談・健診等の一環した母子保健事業を通して虐待の未然防止に努めている。</li> <li>また、ハイリスクの母子については処遇検討を重ね、子育てグループへの情報提供や要保護児童対策実務者会議にてケースの情報を共有・処遇検討し、役割分担をして育児支援を実施し虐待の未然防止に努めている。</li> </ul>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《 Check 》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市が主体に行うべき事業である <input type="radio"/> ② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である <input type="radio"/> ③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である <input type="radio"/> ④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	<b>判断理由及びその他所見</b> 乳幼児の発育及び発達を支援し、養育者の育児支援を行い地域で支えていくことは重要な支援であり市の事業として実施していくことは妥当と考える。
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 市民、団体等から具体的な要望がある <input type="radio"/> ② 市民アンケートの結果から必要性が高い <input type="radio"/> ③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い <input type="radio"/> ④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	<b>判断理由及びその他所見</b> 育児不安や子どもの行動・発達に関するもの、精神面に問題を持つ母など育児を取り巻く環境が多様化しているなか、必要性の高い事業と考える。
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/> ① 低予算、少労力で高い効果をあげている <input type="radio"/> ② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い <input type="radio"/> ③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない <input type="radio"/> ④ 将来的に効率性を向上できる	<b>判断理由及びその他所見</b> 経費の大半は、医師・歯科医師の診察にかかる委託料であり、診察・保健指導など一体的に実施することは効率性の高い事業と考える
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/> ① 成果指標の向上が見られる <input type="radio"/> ② 市民、団体等の声から成果を感じられる <input type="radio"/> ③ 目に見える形で成果があがっている <input type="radio"/> ④ 成果の把握は困難である	<b>判断理由及びその他所見</b> 訪問・健診・相談により育児不安が軽減できたり、発達面・身体面で医療や療育への早期発見・早期治療につなげられ成果があがっている。

①担当グループによる評価 《 Check 》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	順調な育児を支援し、健全な成長・発達を促がし、良好な親子関係を維持することは虐待の未然防止につながり、事業を継続して実施することは必要である。
-----------	----------------------	-------------------------------------------------------------------------

②行政評価会議による評価 《 Check 》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--